

【別紙様式】  
令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
5	加納高等学校

学校教育目標	自主自律した個性豊かな生徒を育てる 1 大志を実現するため、学問を尊ぶ気風を広め、高い学力を養う。 2 濃やかな感性と国際的な感覚を養うため、文化を尊重する校風を醸成する。 3 品性ある豊かな人間性を身に付けるため、高い道徳観及び倫理観を培う。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（G P）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（C P）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（A P）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大志を抱き、高い知性を兼ね備え、自らの理想（ゆめ）に向かって挑戦できる生徒</li> <li>個性を認め、他者を尊重して協働することができる心豊かな生徒</li> <li>持続可能な社会の創り手として、主体的に課題解決に取り組み、社会に貢献できる生徒（普通科）</li> <li>音楽や美術の専門性を生かし、将来、芸術分野で活躍できる生徒（音楽科・美術科）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の個性や長所を伸長するための教育課程の編成と個に応じた指導の徹底</li> <li>I C Tの活用や授業改善による学びの質の向上と主体的、対話的で深い学びの実現</li> <li>自主性や仲間との協調性を育むため、生徒を主体とした学校行事や部活動の運営</li> <li>探究的な学びによる主体的判断力、計画立案力、コミュニケーション力、課題解決力の育成（普通科）</li> <li>個性を尊重した少人数の専門教育による芸術的感性や創造的表現力の育成（音楽科・美術科）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的好奇心が旺盛で、自分の目標を目指して勉学に励むことができる生徒</li> <li>自由な校風の中で、部活動や生徒会活動などに主体的に取り組むことができる生徒</li> <li>音楽を専門的に学び、将来、演奏家や指導者などを目指している生徒（音楽科）</li> <li>美術を専門的に学び、将来、作家やデザイナーなどを目指している生徒（美術科）</li> </ul>
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
<b>1 学習指導</b> 個に応じた指導を通して、主体的な学習態度を育成するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組みます。	①基礎的な知識、技能を確実に定着させ学力の伸長を図り、生徒の学びの質を高めるため、I C Tの積極的な活用を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。 ②グローバル探求実践（G L I）事業による、探究的な学習を通して課題の発見とその背景について考察を深め、論理的思考力や課題解決能力など社会に求められる力を育成するための方法を研究していく。		①生徒アンケート（授業に対する満足度80%） ②生徒や教職員による授業評価の分析 ③総合教育センター研修受講数
<b>2 進路指導</b> 確かな学力を身に付けさせるとともに、大志を抱き主体的に進路選択できるよう3年間を通してキャリア教育の充実を図ります。	①総合的な探究の時間やホームルーム活動において、大学説明会や模擬講義などを実施し、生徒の将来像を早期に明確にさせる。 ②高い目標に挑戦するための確かな学力を身に付けさせるとともに、生徒の進路実現を図るため、進路探究学習などのキャリア教育を充実させる。 ③解説講義や講演会などを活用して上位層の拡大を図る。		①志望上位4大学合格者数80名以上 名大10名 岐大50名 名工大10名 名市大10名 ②国公立大学合格者数 現役：170名以上、難関校：20名以上
<b>3 生徒指導</b> 基本的生活習慣を確立させるとともに、安全・安心な学校づくりに努め、人権を尊重する態度を育てます。	①基本的生活習慣の確立を図り、服装の選択やスマホの使用などを通して主体的な判断力と適切な社会性を身に付けさせる。 ②MSリーダーズ、P T A生活委員、職員による交通安全の啓発活動を通して、交通安全指導の充実を図り、交通事故の防止に努める。 ③新「服装規定」の適切な運用を推進し、また、学校生活にふさわしいスマートフォンの使い方を主体的に考えさせる。 ④教育相談に関する職員研修会を実施し、情報共有による生徒理解に努める。		①主体的な挨拶、授業規律、スマホの使用状況などから総合的に判断する ②交通安全啓発活動9回実施 ③生徒による自己評価、教員、保護者、第三者によるアンケート等の分析 ④教育相談旬間2回実施、各種調査の有効活用
<b>4 特別活動</b> 様々な学校行事や部活動を通して自主性を育むとともに、協働して学校生活に参画する態度や好ましい人間関係を育てます。	①創意工夫と発想の転換を図り、with コロナおよびアフターコロナにおける新しい学校行事の在り方を模索する。 ②新しい服装規定のもと、自由と責任について考えさせる。 ③部活動の円滑な運営を目指すとともに、文化祭や表彰伝達式等、活動の成果を全校で共有し、互いに認め合い高め合う機会を設ける。		①行事ごとの職員・生徒アンケートの分析 ②年度毎に1年の振り返りの機会を設ける。 ③部活動加入率の全校平均80%以上 ④部活動の発表の場と定期的な表彰伝達式の設定
<b>5 教職員の働き方改革</b> 勤務時間を意識した働き方を推進します。	①時間外勤務の状況を把握するとともに、職員個々の業務に偏りがいないか常に注視し、教職員の働き方改革を推進する。		①時間外勤務が月80時間を超える教職員数0 ②全ての教職員が年休を5日以上取得